

株式会社中央ネームプレート製作所

ネームプレートから電子機器基板、そして薄型精密板金加工へ

株式会社中央ネームプレート製作所では、プレート加工やプリント配線板、薄板精密板金物の製造など様々なものについて扱っている。この会社の名前を初めて聞いた時、名札や表札などを作っている会社だと思っただけでなく、同じエッチングの技術を使う電子機器の基板を製作し、さらに発展して基板の取付けや外装などの薄型精密板金加工、関連会社ではN.T.T.関係の仕事なども行っていることを知って、非常に向上心のある企業であると感じた。



エッチング・製線ライン (株式会社中央ネームプレートホームページより引用)

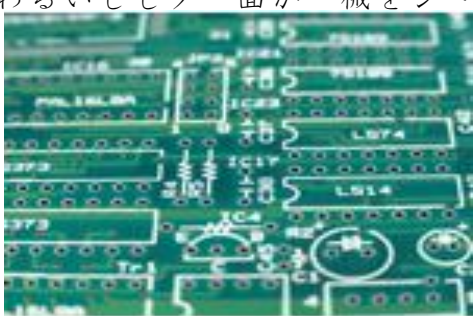
はじめに、製作されたネームプレートを見学して、街中で見かけたことのあるプレートや身近にあるプレートなど様々なプレートがこの会社で製作されていることに驚いた。プレート加工をしている工場を実際に見ることはできなかったが、プレートの美しさを見て、長年の努力によって積み重ねられた結果であるように感じた。

プリント配線基板の最終チェック 人の目VS機械

プリント配線板を製造している工場では、塵や埃を嫌うためか土足厳禁である。工場内は工程が進むように順路ができており、物の流れがスムーズになるよう工夫されている。

順路のあらゆるところに緊急停止ボタンや、ガラスを用いて工場全体を見られるように工夫されている。安全を重視していると同時に、少しずつ作り上げられていくプリント配線板が流れていくのを見て、面白く感じているのを見た。思った。

最終チェック工程では、回路のパターンが切れていないかを検査する専用の機械がある。この機械は動きが独特で、見ていて面白い。この最終チェックはお客さんが指示しなければ機械を通しての検査は行わないことになっていて、そのときは、代わりに人の目でチェック

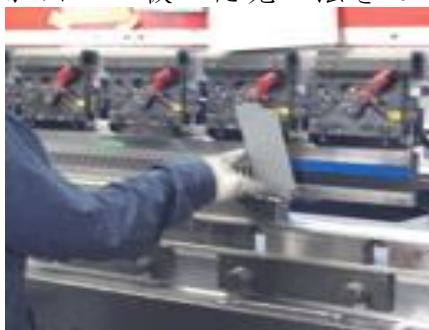


配線板とチェッカー (株式会社中央ネームプレート製作所ホームページより引用)

クするようにして、凄いなと思った。作業効率でいえば人の目の方が上であるが、正確さでいえば機械なので、どのくらいの精度をお客さんが求めるかによって変わることが分かった。プリント配線板の工場全体としては、安全を重視し、問題が起こればすぐに対応できるように準備されているのが印象的だ。

レーザー加工、研磨、塗装技術を 受け継ぐ努力で人工衛星が飛ぶ

薄板精密板金物の工場では機械がたくさん置いてあり、工具などもたくさんあったが、整理と並べられており、工具も専用の棚にまとめられていたのが印象的だ。主な製造過程は曲げ工程、溶接工程、レーザー加工工程、研磨工程、塗装工程などがあり、この中でも特にレーザー加工工程と研磨工程、塗装工程は印象的である。レーザー加工工程では大型の機械を用いて加工しており、その機械を扱えるのは4人しかいないという。その他の小さな機械もいくつかあり面白いと思った。研磨工程では主に液体につけて塗装する方法と、ドライヤーのようなものを用いて粉末を吹きかけて塗装する方法があった。



塗装と曲げ工程の様子 (株式会社中央ネームプレート製作所ホームページより引用)

どちらも実際に見たことがなかったため、新鮮で面白い。研磨工程では、板金に溶接などを行って組み立てた場合、ひずみが出るためステンレスなどの磨かれた素材の見栄えが悪くなる。そんな製品に研磨をして見栄えを良くする磨きの職人がいる。

このような磨きの職人は全国的にも数が減っている。そのためこの会社では加工技術に幅を持たせてものづくりの力を底上げするために、年配の職人が若手に技術を受け継がせようとしているのが印象的だった。この会社の関連会社ではN.T.T.関係の修理業務を行っている。そこで聞いた話の中で衝撃的だったのは電話機は勝手に捨ててはいけないということである。電話機は国が製作して配布したもので、壊れたり古くなると必要なくなった場合は返却する必要があるという。しかし電話機は勝手に捨てられているのが現状である。返却された公衆電話などは必ず修理して使えなくなる。修理するためには新品を製造がされなくなった部品もあるため新品ではなく、古いものや壊れたものから使える部品を取り出して再利用しているのが現状である。また、N.T.T.関係の依頼だけでなく、人工衛星の部品開発の依頼も銅などを使うのでは驚いた。伝導率の問題で銅などを使うのではなく、金が使われていることにも驚いた。

この関連会社全体としては、N.T.T.関係の問題を解決していたり、さらには宇宙関係の依頼まで幅広く行っているの凄いなと思った。

ローテーションシステムは人と会社を育てます

交流会ではプリント配線板の工場において、なぜ多くの機械に緊急停止ボタンが付いているのかという質問があった。理由は問題が起きた時にすぐ対応するためであり、問題が起きた製品を次の機械に流さないようにするためだ。プリント配線板の工場だけではなく、他の工場でも部品や工具が整理されていて安全を重視しているのがよくわかる。

また、この会社では、従業員同士の連携とローテーションシステムがある。この会社は個人創業から始まり、今では複数の工場と関連会社を持っているため、現在では100人近い従業員が働いており、部署の数も増えているとい



加工ブース全景 (株式会社中央ネームプレート製作所ホームページより引用)

この人数をまとめるとは大変であるが、この会社では同じ人が同じ仕事ばかりをするのではなく、ローテーションを行って様々な仕事を体験することができるとい。ローテーションを行うことでモチベーションを維持することができ、いろいろな業務をこなすことで多種多様な人材を育てることができ、さらに特定の人には扱えない機械や作業を減らすことで、特定の人が行えなくなってしまっても代わりに別の人が行える状態にしておけるなど、様々なメリットがあることを知った。このローテーションシステムを知った時は驚いた。目の前の効率を見るのではなく、その先の効率を考えているローテーションシステムはこの会社の一番の強さだ。このシステムがあることにより、男性だけではなく女性も活躍できる作業があるので、工場働くことに興味がある女性はこの会社で働いてみるのも良いのではないかと考えた。全体としては安全を重視していることや、従業員を大切にしているところが印象的であり、良いことだと思った。

▼会社DATA▼

株式会社中央ネームプレート製作所

代表者名  
代表取締役社長 氏家 界平

住所  
(本社)札幌市東区北39条東1丁目2番17号  
(石狩工場)石狩市新港西3丁目749-4

電話番号  
(本社)011-752-2161  
(石狩工場)0133-73-1301

ホームページ  
<http://www.cnpnet.co.jp>



社屋 (株式会社中央ネームプレート製作所ホームページより引用)